

- 1. 日 時：平成 30 年 3 月 5 日（月） 午後 1 時 30 分～午後 2 時 30 分
- 2. 場 所：瑞浪市西分庁舎 1 階 会議室
- 3. 出席者：委 員 柴田さだ子、加藤真紀、須藤信行、木村彰男、高橋良明、木村泰宏、  
原憲作、保母朋子、伊藤明芳（会長）〔名簿順、敬称略〕
- 4. 欠席者：委 員 岩島勝義、志水利保、今井瞳、小倉弘子、江口研（副会長）、小鞠清子  
〔名簿順、敬称略〕
- 5. 事務局：民生部社会福祉課  
宮本朗光（民生部長） 南波 昇（民生部次長兼社会福祉課長） 山路雅子（社会福祉課課長補佐兼障がい福祉係長） 長谷川幸（社会福祉課障がい福祉係）
- 6. 日 程：
  - 1. 開 会
  - 2. 会長あいさつ
  - 3. 議 事
    - （1）パブリックコメント実施結果について
    - （2）計画案修正箇所（パブリックコメント資料公表以降）について
    - （3）計画案の承認について
  - 4. その他
  - 5. 閉 会

■ 7. 内容：

**開 会**

【事務局】 どうもこんにちは。本日は大変お忙しいところ、またお足元の悪い中お集まりいただきましてありがとうございます。ただいまより第 4 回瑞浪市障害者計画等推進委員会を開催いたします。

（委員欠席の連絡、本会開催要件成立の報告）

これ以降の進行は会長にお任せしますので、よろしく願いいたします。

【会長（以下、議長）】（あいさつ）

ここで民生部長からあいさつをお願いします。

【事務局（民生部長）】 皆さんこんにちは。本日は雨の中、お足元悪い中、第 4 回瑞浪市障害者計画等推進委員会にご出席いただきましてありがとうございます。

この障害者計画については、これまで 3 回皆様のご意見をいただきながら、案をまとめてパブリックコメントを実施しました。本日はパブリックコメントの結果報告、計画案の段階以降に細かな修正点がありましたので、それについてもお話をいただいて、そして最終的に本日皆様のご意見をいただいて計画案を承認していただきたいと考えています。

それから、ちょうどこの計画が始まったときには、前回、前々回とすごく寒い時期だったのですが、急に暖かくなりましていよいよ春になり、私にとってもこの障がい福祉との関わりがここで区切りになるので、大変お世話になりましたことをお礼申し上げます、私からのあいさつといたします。ありがとうございました。

議 事

（1）パブリックコメント実施結果について

【議長】 それでは早速、議事に入ります。よろしく願いします。始めに議事（1）について事務局から説明をお願いします。

【事務局】（資料1の説明）

【議長】ありがとうございました。事務局から説明していただきましたが、ご質問ご意見があればお聞きしたいと思いますので、よろしくお願ひします。

2人の方から5項目のご意見をいただき、市の考え方としては、計画案と一致した内容であるため計画の変更には影響ないという判断ですね。

【事務局】そうです。

【議長】よろしいでしょうか。

（2）計画案修正箇所（パブリックコメント資料公表以降）について

【議長】それでは、議事（2）について、パブリックコメント資料公表以降に計画案の修正があったようですので、事務局から説明をお願いします。

【事務局】（資料2、資料3の説明）

【議長】ありがとうございました。ただいま事務局から説明していただきました。計画を審議していただくのはここまですりなりますので、ご意見ご質問よろしくお願ひします。

計画の表紙は第4次障害者計画と第5期障害福祉計画となっていますが、障害児福祉計画はここには載せないのですか。

【事務局】第5期障害福祉計画に含めて一体的に作成しているため載せていません。

【議長】あえて載せる必要はないということですか。

【事務局】自治体によっていろいろですが、全て列記しているところもあれば、当市と同じように第5期の中にも含めることもあります。

【議長】目次でみると、第5章が第5期障害福祉計画、第6章が第1期障害児福祉計画になっているので、同じようにみんなここにきてもいいかなと思うのですが。

【事務局】そうですね。それが分かりやすいかもしれません。あまりに長くなるからだと思いますが、県などは数年前から「障害者総合支援プラン」とひとまとめに表記し、その中にこれらの計画が入っていますという形でやっています。

【委員】第1期目で最初なので、ちゃんと分かりやすいように表記した方が、もっと興味をもてただけけるのではないかと思います。

【事務局】そうですね。ここで逃すと次から無いままになってしまいますね。

【議長】これまでは含まれていなかったと思いますが、今回は障害児計画を含めることになっているので、出した方がいいかと思います。

【委員】なかなか児者との区別が今までつきにくくて、よく分かりにくかったので、新しい児童の形としては分かりやすいと思います。ぜひ入れて載せていただけたらと思います。

【議長】そういう意見もありますので、ぜひ考えてください。

【事務局】載せる方向で検討します。

【議長】もう1点お聞きしたいのが、先ほどの訂正の説明で市営駐車が4月から無くなることありました。現行制度の内容となぜ制度が無くなるのか分かれば教えていただきたいです。

【事務局】これは都市計画が担当する制度ですが、内容などをいろいろ検証する中で、制度を廃止することになりました。都市計画課で障害者手帳を提示しプリペイドカードを交付され利用するものですが、何がネックかと言うと無人の駐車場であることです。無人の駐車場では障がい者本人が利用しているかが確認できないこと、悪意のある人が売りさばくこともできてしまうのではとの指摘を受けて、現状では対応が出来ないということで無しにすることにしたそうです。

【議長】せつかくの制度がその理由で無くなるのは残念です。これは感想です。

【事務局】有人の駐車場にするしか今のところ手の打ちようが無いということのようです。

【議長】実際に不正利用の事例があったということですか。

【事務局】わかりません。

【議長】公益が保てないので無くしたということですか。

【事務局】プリペイドカードを渡した後は、見つかる手段が全く無いので、あったかどうか分からないということです。

【議長】逆に言えば無いかも知れませんね。

【事務局】そうですね。

【議長】残念ですが仕方ないです。他にご意見ご質問ありましたらお願いします。よろしいでしょうか。

### (3) 計画案の承認について

【議長】それでは議事(3)についてです。これは今まで計画案について説明していただいていますので、計画案の承認について委員の皆様にご意見を伺いたいと思いますので、よろしくをお願いします。

第4次瑞浪市障害者計画、第5期瑞浪市障害福祉計画、第1期瑞浪市障害児福祉計画の案について、承認いただける方は拍手でお願いします。

(拍手)

【議長】ありがとうございました。拍手多数と認め、本計画案は承認されました。

### その他

【議長】以上で議事は終了となりますが、その他として事務局から何かありましたらお願いします。

【事務局】(今後の予定の説明)

【議長】ありがとうございました。もう1点聞いていいですか。この計画案は市の内部的な手続きをこれからとって、正式な計画になりますが、この計画書や概要版はどのようなかたちで市民の皆さんに周知されるのでしょうか。

【事務局】まず広報に載せます。そしてホームページにも載せます。

【議長】ではなくて、印刷した概要版などの活用の仕方です。

【事務局】前回の活用方法は把握できていませんが、これから行おうと思っているのは、結構な部数を印刷するので、まず議員にお配りし、内部の職員はもちろん関係機関にはすべて配布する予定です。市民の方が必要な方にもお渡しできます。

【事務局】広報折り込みで概要版を配布することは、今のところ予定していません。

【議長】全戸配布は考えていないのですね。

【事務局】はい。ホームページで市民の方に見ていただくことと、広報で概要の概要のようなものを載せてこの計画を作ったこととお知らせします。

【議長】よろしくをお願いします。

【委員】この中に自由記載の欄があります。いろんな声が出ていると書いてありますが、これについて回答するのですか。答えられるものと答えられないものが当然あると思うのですが、せっかく皆さんからいただいた声に対して何らかの返事をするのか、出した側からいけば、このことが決まっているからと出された部分があると思います。出しっ放しで終わってしまうのかということになるとどうなのかなと。こういう意見があつてこういうことについて、例えば各部署に相談してこのようにしていくよう図ると、Q&Aのようなものがあると、出した方もこのようにしてもらえると納得することがあるかと思いますが、ここには何も書いていないので、その点はどのように考えていますか。

【議長】事務局の考え方についてお願いします。

【事務局】この計画を推進する中で進めていく部分では、すぐに答えられないものももちろんあると思います。他の部署と相談しながら回答していくべきこともあるでしょうし、おっしゃる通りで答えようが無い部分もあります。意見を踏まえてこの計画ができていますので、個別に答えなくていい部分もあると思います。せっかくいただいた生の声ですの

で、極力何らかの形でお返ししたい思いはあります。具体的にはまだそこまで話は詰めていません。私の個人的な意見です。

【議長】その他何かありますか。本日の委員会はこれで終了となりますが、全体を通しての感想やご意見、今後に向けての要望等ありましたら、せっかくの機会ですのでお願いします。

【委員】計画を作るのにすごいお金と人、これだけの資料、かなり時間と手間をかけて、今回のこれだけの計画が出来たと思います。私の所属する法人でも事業計画を作りますが、私の法人もそうですが、計画を作って終わりになりがちです。やはり計画の中身に沿って実務をしていくのが本来の形です。たまに話していて、関係機関ですら計画の中身をしっかり熟知していない状況です。もちろん先ほど話に出たアンケートも含めてですが、今後、総合支援協議会などで関係機関がこれをまず読み解いて中身を熟知して、今後何ができるかを考えていく指針とする必要があります。もちろん数年後に何かができるわけではないかもしれませんが、この計画を認識していることを第一目標にして、次の計画に向けて本当に生きたものになればいいなと、個人的に思っています。

この計画のアンケートを見て思ったのは、人口は3万8千で、私が小中学生の頃は4万4千か3千くらいと記憶しています。この30年で人口が5千、6千と減って行って、障がい者の数はこのアンケートを見る限りは平行線か若干増えていて、高齢化率も入れるとかなり計り知れない数字が出てくるだろうなと思いますが、いま自分でも仕事の目標でやっているのは、やはり支えられる側から支える側へということで、全員が全員支える側になるわけではないですが、障がいをもった人でも支える側になれる方は支える側に少しでもなっていく方向を目指したいと思って支援していますし、逆に重度の方などなかなか支える側に回れない方でも、少しでも自立をして少しでもサービスから自分の力で生きていけるところに、少しでも近づいていくことを目標に支援しています。

いろんなサービスも増えてきて、いろんな税金がかかるようになってきていますが、今のその投資が、できたら将来少ない投資で済むことになっていかないかなど。障害者計画でも市民にいろんなことが浸透して、新しいものを作るとか新しい人材を増やすことはできないですが、既存の資源もしくは今いる市民が障がい者のことをよく理解して、支え手になることでまた違ってくるのではないかなと思って、数年間かけていいものになればと思いました。

【議長】ありがとうございます。その他に皆さんいかがでしょうか。

【委員】私がさっき自由記載に答えられるものと答えられないものがあると言われましたので、実際私たち施設の者はこれを見てすごく反省しないといけないと感じ取ったところが多かったです。自由記載の文章を施設の職員が市としてお答えできる箇所はお答えして、各施設の者が一般の方はこのような意見を持っていると改めて考えて、こういうことを自分たちで考えてなかったとすごく感じ取るところがありました。

その意味で、資料はもちろん一般の方の意見を直に見ることができたのは、すごくいいと思いますし、反省としてはパブリックコメントですが、まちなかに施設をつくること書いてあって、私の事業所はまちなかにあるのですが、それが浸透していないことは自分たちのやり方が悪いのと、一般の方達にこういうところにこういう施設があるのもっと知ってもらえるように、自分たちも努力しないといけないとすごく感じました。

【議長】ありがとうございます。その他に何かよろしいですか。

【委員】この間、特別支援学校で社会福祉課とざっくばらんに話し合う場がありました。なかなか子どものサービスがわからなかったり、あまりにも国から加速しているようなサービスが増えているのでわかりづらかったりということで、去年、一昨年くらいから市長との話し合いもしていたのですが、もっと詳しい話を聞くために社会福祉課と話をするようになりました。

そこで、子どもがボランティアをする話が出て、「中学校などで気軽にボランティア

ができるものを増やして少しずつ浸透している」と、ある中学の例を言ってくれたお母さんがみえました。このアンケートを取った中にも、大人がボランティアに対してすごく抵抗がある、やりたい気持ちがあってもどう入っていいかわからないと一杯あったので、やはりこれからの子どもたちにはその気持ちが少しでも軽減されるように、小さいときからボランティアなどを経験するのいいと思います。重い障がいを持っていてもできるだけ外に出て、一緒に車椅子を押してもらって経験は、すごく大事だなと思ってよくやってもらっていますが、子どもからそのことをやっていくと、大人になったときに自然にできるのではないかと。子育てはすごく大事と思ったので、ぜひ市が推進して小中高までボランティアに対して少し意識づけをしていただけると、すごくありがたいと思っています。この間いいお話を聞いたと思っていたので、これから計画を推進していく一つの材料になったらいいなと思います。

それと障がいを知ってもらうのはすごく難しいと常々思っていて、車椅子で鼻にチューブを通していて、胃瘻にしてボトルをつないでいけば、障がいが重いなど見た目ではわかんないと思いますが、見た目ではない障がいはいっぱいあるので、そのことも含めて次世代の医師や看護を目指す方、新しく仕事をする方すべてに障がいを知っていただき、どんなことを求められているかを知ってもらって、次世代につなげたいと思っています。〇〇施設では医師の卵の方たちを連れてきてくれて、今こういう生活を自宅できているとお話しして、今度看護学校にも自宅でこんな生活をしていてこんなことに困っているとか、看護にこんなことを求めたいとかを、若い世代の方達にできるだけ伝えていこうと思って、その活動を障がいの子でもできる何かの役割かと思って、少しやっけていこうと思いますが、できるだけ障がいをもった人たちも外に行ける環境を作っていただきたいというのが、子をもった親としてすごく感じる部分です。

計画にいろんなことが盛り込まれていて、これからが楽しみです。どのように変わっていくのか楽しみにしながら、ここでお話ししました。ありがとうございました。

**【議長】** ありがとうございます。よろしいでしょうか。最後になりますが、私から一言あいさついたします。

委員の皆様におかれましては、会の運営にご協力いただきありがとうございます。大変良い計画としてまとめていただいたと思います。今後はこの計画の実現に向けてしっかり進めていただきたいと思いますのでよろしくお願い致します。制度や手続きがよくわからないという話もありましたので、せっかくの計画ですので、市民の皆様にはわかりやすく説明をしていただく取り組みをよろしくお願い致します。本当にいろいろお世話になりました。ありがとうございました。

事務局に進行をお返ししますので、よろしくお願い致します。

**【事務局】** 会長どうもありがとうございました。また皆さんにおかれましては、第1回の7月12日の委員会以降、いろんなご意見を真剣に考えていただきましてありがとうございました。会長におかれましては的確な進行をしていただきまして、議事がスムーズに終わりましたことを感謝申し上げます。

皆様からご意見をいただいているとおり、この計画は作って終わりではないです。これから計画をいかに実行していくかに尽きると思います。また進捗状況などもホームページで公表いたしますので、委員としての任期は切れますが、そのことも見て目を光らせていただき、ご意見などがありましたらいただいて、いい計画の進行を順番にしていきたいと考えていますので、よろしくお願い致します。

ではこれで第4回の委員会を終わります。本当にどうも1年間ありがとうございました。

閉 会